

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼこあぼこ熊本		
○保護者評価実施期間	令和8年3月16日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和8年3月16日		～ 令和8年3月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状況に応じたきめ細かい個別支援及び集団での支援	<ul style="list-style-type: none"> 障がい種別(知的・情緒など)、発達状況に応じた個別支援(学習・トレーニング)ができています。 生活に即した療育をきめ細かに実施している。 (お菓・ひも結びなど、女児に関してはナプキン取替え等生理始まる前から取り組んでいる。) 集団活動では、異年齢の子どもとの運動遊びやゲーム、創作活動等を通じてルールやコミュニケーションスキルの習得に積極的に取り組んでいる。 他児との関わりを活動を通じ深めるよう取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がいがあるゆえに、自分の希望・要望を言えず、消極的にならないように心がけ取り組む必要がある 子ども同士の関わりの中で自主性・主体性が導き出せるよう支援していく必要がある。
2	避難訓練で自然災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1日は避難訓練を実施している。(火災・水害・地震等) 年に数回は、散歩やピクニックとして、避難所(アクアドーム)まで徒歩にて移動し、危険箇所や移動時間の確認利用児の疲労度など確認している。 	避難先で引き渡し訓練を取り組んで行きたい
3	手作りおやつや、事業所畑で収穫した野菜を使って昼食作りを実施し食育	<ul style="list-style-type: none"> 手作りおやつを提供 苦手食材の克服 事業所庭でみんなで計画・種まき・世話・収穫まで実施可能な時には事業所の昼食作りで使用し食育している。 	<ul style="list-style-type: none"> 食に関する知識をさらに育成 調理過程において衛生管理の育成 将来1人暮らしでも調理出来るように簡単な調理の提案・実施

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場がない	<ul style="list-style-type: none"> 同学校や同協会に入会されているなど、当事業所利用以前からや、同じ学校になったことで交流されており、当事業所で交流の場を設けていない。 	12月に日帰りバス旅行実施した際に保護者参加を検討したが、貸し切りバスが小型しか空いておらず、断念せざるを得なかった。今後計画時には保護者参加を検討する
2	地域との交流の場がない	<ul style="list-style-type: none"> 事業所所在地が川尻神宮の秋季大祭の年行司であったため、寄付を行った。そのお礼で飾り馬おろしで、事業所玄関前まで馬を連れて、子ども達と触れ合いさせて頂くなど、前年よりは地域交流に参加できているが、もう少し近隣住民と交流していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域イベントの収集するも、事業所休みの日曜日が多いため、参加するには検討が必要。 地域清掃などをし、地域住民にアピールする事を検討
3			